

2026年6月26日

タイ～ラオス間、越境貨物鉄道輸送の試験輸送の実施について

当社は、2021年9月にバンコク駐在員事務所を開設して以来、タイを起点とした海外事業の実現に向けて、現地関係者との連携強化や事業化の可能性の検討に取り組んでいます。このたび、タイ王国（以下「タイ」）～ラオス人民民主共和国（以下「ラオス」）間において、当社として初めてとなる国境を跨ぐ貨物鉄道輸送の試験輸送を実施しました。

1. 背景

JR貨物グループは、貨物鉄道輸送を中心に、倉庫・トラック輸送・不動産事業などの幅広い事業を日本全国で展開し、お客様に選択・信頼されるサービスの提供に努めてきました。また鉄道輸送は環境負荷低減に資する輸送モードであり、持続可能な物流の構築に向けた選択肢の一つとして、国内外で期待が高まっています。

当社は、これまで培った貨物鉄道輸送の運営ノウハウを活かし、タイをはじめとする東南アジア諸国等において、荷主・物流事業者が利用しやすい鉄道輸送サービスのプラットフォームを提供する事業展開の可能性を検討しています。今回の試験輸送は、タイ国鉄・ラオス国鉄が運行する貨物列車を活用し、越境貨物鉄道輸送におけるオペレーション検証の取り組みとして実施したものです。

2. 試験輸送の概要

(1) 実施目的

越境貨物鉄道輸送に必要な実務、通関業務、輸送品質の維持、リードタイム等のオペレーションの検証

(2) 実施期間

2026年6月15日～6月22日

(3) 輸送区間

チョンブリ（タイ）～タナレーンドライポート（ラオス）駅間（約650km）往復

(4) 輸送内容

40ft コンテナ×3本

(5) 協力企業：現地日系フォワーダー各社

SANKYU-THAI CO.,LTD.

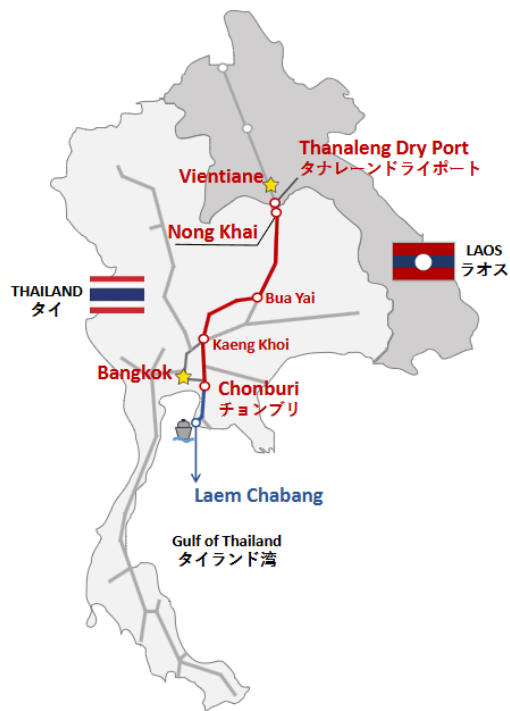
SIAM NISTRANS CO.,LTD.

NIPPON EXPRESS LOGISTICS (THAILAND) CO., LTD.

※順不同

3. 今後の展開

今後は、本試験で得られた知見を踏まえ、タイをはじめとした東南アジア諸国等における貨物鉄道輸送事業の検討を進めていくとともに、貨物駅や倉庫等を結節点とした、様々な輸送モードを組み合わせた総合物流サービスの可能性についても検討を進めてまいります。



チョンブリ（タイ）～ タナレーンドライポート（ラオス）駅間の地図



チョンブリ駅（タイ）発車前の様子



タナレーンドライポート駅（ラオス）到着の様子